

## 品目別レポート（清涼飲料水）

### ■品目説明

清涼飲料水とは、アルコール分を含まない飲用の液体（アルコール分 1%未満）で、味や香りを有する飲料水やソーダ水、ラムネ、サイダーなど炭酸ガスを含む飲料水などを指す。

全国清涼飲料連合会によると、19年の清涼飲料水の国内生産量は前年比 0.6%減の 2,261万 4,900 klであった。5年ぶり前年割れ。一方、1人当たり年間消費量は前年比横ばいの約 180l となった。

### ■貿易概況

▼表1：日本の清涼飲料水輸出

（単位：ドル、キロリットル、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	21,988,390	7,165	41,447,110	12,174	64,511,977	18,986	55.6	56.0
香港	45,707,419	15,839	66,475,236	18,374	51,305,186	19,046	△ 22.8	3.7
米国	28,533,665	17,398	34,387,809	19,024	42,564,822	23,154	23.8	21.7
オーストラリア	25,409,019	18,608	28,580,278	20,485	34,650,740	26,334	21.2	28.6
台湾	21,683,387	14,104	24,077,880	15,596	24,479,710	15,336	1.7	△ 1.7
全世界	218,769,646	104,979	254,973,262	109,560	278,668,797	126,747	9.3	15.7

注：対象はHSコード 2202

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の清涼飲料水等の輸出額は、前年比 9.3%増の 2億 7,866 万ドル、輸出量は同 15.7%増の 12万 6,747 klと、14年以降 6年連続で金額、数量ともに増加している。

輸出相手国・地域 1位は中国となった。輸出額は前年比 55.6%増の 6,451 万ドル、輸出量は同 56.0%増の 1万 8,986 klと金額、数量ともに大幅に増加した。2位の香港への輸出額は同 22.8%減の 5,130 万ドル、輸出量は同 3.7%増の 1万 9,046 klであった。3位は米国で同 23.8%増の 4,256 万ドル、輸出量は同 21.7%増の 2万 6,334 klとなった。4位のオーストラリアは輸出額で同 21.2%増の 3,465 万ドル、輸出量は同 28.6%増の 2万 6,334 klとなった。

### ■海外事情

#### ●中国

19年の輸入額は前年比 21.0%増の 6億 8,615 万ドル、数量は同 10.0%増の 42万 2,153 klだった。国・地域別にみると、1位は台湾で、輸入額は前年比 26.8%増の 1億 3,580 万ドル、数量は同 1.1%増の 6万 9,198 klだった。2位は韓国で同 40.1%増の 1億 642 万ドル、以下タイ、米国と続いた。日本は 4位で金額が同 64.6%増の 6,973 万ドル、数量が同 55.8%増の 2万 173 klと伸びた。

20年4月のジェトロによる『現地市場価格調査』によれば、上海の現地系低所得層向け店舗における日本産瓶ラムネ200mlの価格が10.8人民元（約173円）、ローワーミドル向け現地系店舗におけるサントリーウーロン茶（中国産）6本が12.9人民元（約207円）、フランス産「ペリエ・レモン」330ml×24本が119人民元（約1,913円）であった。

▼表2：中国の清涼飲料水輸入

（単位：ドル、キロリットル、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
台湾	62,795,471	63,246	107,074,937	68,458	135,800,975	69,198	26.8	1.1
韓国	58,412,114	48,084	75,957,930	51,674	106,426,030	60,555	40.1	17.2
米国	26,591,501	8,890	65,733,449	11,349	77,809,186	8,940	18.4	△ 21.2
日本	26,414,139	8,016	42,360,147	12,952	69,732,676	20,173	64.6	55.8
タイ	76,442,629	73,955	72,942,247	70,898	67,401,492	65,649	△ 7.6	△ 7.4
全世界	441,277,697	376,215	567,112,320	383,753	686,151,516	422,153	21.0	10.0

注：対象はHSコード 2202

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

## ●香港

19年の清涼飲料水の輸入額は、前年比2.1%増の2億967万ドル、輸入量は同5.2%増の28万4,948klであった。

▼表3：香港の清涼飲料水輸入

（単位：ドル、キロリットル、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	109,103,980	157,527	103,574,787	147,035	105,260,095	155,869	1.6	6.0
日本	28,173,966	12,657	33,747,733	15,182	31,726,310	15,176	△ 6.0	△ 0.0
台湾	25,792,067	32,082	25,409,061	31,921	29,047,271	35,512	14.3	11.2
米国	16,944,866	3,914	25,898,260	3,741	24,966,863	5,060	△ 3.6	35.2
韓国	13,749,773	10,976	15,508,221	11,314	16,556,932	10,790	6.8	△ 4.6
全世界	272,677,400	278,839	290,570,996	270,868	296,705,307	284,948	2.1	5.2

注：対象はHSコード 2202

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

輸入額1位は中国で1億526万ドル（前年比1.6%増）、輸入量は15万5,869kl（同6.0%増）、構成比は金額ベースで35.4%、数量ベースで54.7%であった。2位は日本で輸入額は3,172万ドル（同6.0%減）、輸入量は1万5,176kl（同横ばい）。3位は台湾で輸入額は2,904万ドル（同14.3%増）、輸入量は3万5,512kl（同11.2%増）。4位は米国で輸入額は2億4,966万ドル（同3.6%減）、輸入量は5,060kl（同35.2%増）であった。5位は韓国で輸入額が1,655万ドル（同6.8%増）、輸入量が1万790kl（同4.6%減）であった。

中国産製品は地理的な優位性から他国に比べ輸送コストを抑えることができるため、価格的には有利である。また味についても、砂糖入りの茶など香港人の味覚に合うことも強みである。香港の家庭では地価が高く、貯蔵スペース、保冷スペースが限られるため、買ったその場で飲め、持ち歩き可能であるほうが、香港人の生活スタイルに合う傾向がある。

日本産で人気のあるものは、茶以外に、フルーツフレーバーやラムネ、日本各地の名所や産地を表すご当地商品などが挙げられる。また、無糖以外にも、ビタミンやコラーゲン入りなどの健康を意識した商品も人気で、こういったものは価格が多少高くても消費者に受け入れられている。台湾産は茶類が多く、米国産はエナジードリンクなど機能性ドリンクが高価格でも売れている。

## ●米国

▼表4：米国の清涼飲料水輸入

(単位：ドル、キロリットル、%)

	2016年		2017年		2018年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
オーストリア	863,910,458	297,669	950,460,241	325,274	1,026,870,145	362,176	8.0	11.3
スイス	806,617,435	274,377	717,928,300	242,333	715,739,861	249,410	△ 0.3	2.9
メキシコ	326,507,473	498,176	365,664,590	416,823	405,864,388	445,891	11.0	7.0
カナダ	148,239,988	143,658	211,479,205	207,908	267,219,718	225,654	26.4	8.5
イタリア	93,840,457	88,718	76,865,590	73,906	106,029,269	106,274	37.9	43.8
日本 (13位)	23,662,622	16,068	29,661,709	18,589	34,739,653	21,487	17.1	15.6
全世界	3,182,047,058	2,202,907	3,205,350,890	2,126,285	3,286,822,837	2,157,983	2.5	1.5

注：対象はHSコード 2202

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年の清涼飲料水の輸入額は前年比で2.5%増の32億8,682万ドル、輸入量は同1.5%増の215万7,983klとなった。

輸入相手国別では、オーストリアが1位で、輸出額は10億2,687万ドル(前年比8.0%増)、数量は36万2,176kl(同11.3%増)。2位はスイスの7億1,573万ドル(同0.3%減)、3位がメキシコの4億586万ドル(同11.0%増)であった。日本は13位の3,473万ドルで、前年比17.1%増となった。また、日本からの輸入量は同15.6%増の2万1,487klだった。

米国では糖分の過剰摂取による肥満や糖尿病が深刻な問題となっており、アンチ糖分のトレンドが続いている。カリフォルニア州のバークレー市やサンフランシスコ市などで甘味飲料に対して課税する「ソーダ税」導入されているが、2017年にはイリノイ州クック郡(シカゴ)、ペンシルベニア州フィラデルフィア市にて、甘味飲料に対して課税する「ソーダ税」が導入された(クック郡は同年12月に廃止)。また、ソーダ税が議論されていない地域でも、消費者はより健康的な飲料を好むようになっている。

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006  
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル  
TEL：03-3582-5186

**【免責事項】**

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。